



# 長崎大学附属図書館報

THE BULLETIN OF THE NAGASAKI UNIVERSITY LIBRARY

和華蘭（わからん）とは、日本（和）・中国（華）・オランダ（蘭）の混合した文化様式をいう長崎の固有の表現です。



「和蘭陀(オランダ)軍艦図」(経済学部分館所蔵)

## —contents—

◆ 附属図書館における新しい取り組みの紹介 (附属図書館長 岡林隆敏)	1~3
◆ 中央図書館・経済学部分館の閲覧机更新 4	◆ 学生希望図書について 5
◆ EBSCO host 利用上の注意点	6~7
◆ ScienceDirectおよび InterScienceの学外からの利用サービスについて	8
◆ 「日本実験動物科学・技術ながさき2004」で古写真パネルを展示	8
◆ 図書館利用ガイダンスの報告とお知らせ 9	◆ 携帯OPAC運用開始 9
◆ 参考調査カウンターの新サービスの紹介	10
◆ 本学関係教員著作寄贈図書 11	◆ 平成16年度附属図書館委員会委員名簿 12
◆ 人事異動 (新規採用職員の感想と抱負) 13	◆ 情報スクランブル 14



## 附属図書館における新しい取り組みの紹介

附属図書館長 岡林 隆敏

今年度の附属図書館の新しい取り組みについて紹介します。図書館の経常的なサービスに加えて、①長崎大学デジタルアーカイブスの構築、②長崎大学附属図書館画像データベース開発による長崎県の地域貢献、③長崎大学附属図書館の公開事業、④附属図書館グッズの販売、等を計画しています。この計画を実現する

ために、平成16年度長崎大学教育研究改革・改善経費（学長裁量経費）の助成を受け、附属図書館研究開発室を中心に計画を進めます。研究課題は、『長崎大学及び長崎県内歴史資産による「長崎学デジタルアーカイブス」の構築と運用経営戦略に関する研究—図書館技術資源による地域貢献活動への挑戦—』です。

## (1) 教育研究改革・改善プロジェクトの概要

### 1) 長崎学デジタルアーカイブスの構築

長崎県における自然・歴史・風俗の観光資源は、全国でも秀逸にも関わらず、地理的格差が大きいために、観光資源としての情報が全国に広まっていません。現在では、IT技術を駆使した「デジタルアーカイブス」（電子博物館・文書館）を構築することにより、容易に低コストで情報発信基地を構築することが可能になりました。附属図書館で、長崎大学の研究成果を公開する「長崎学アーカイブス」を構築し、この中に、「長崎学アーカイブス」項目を設け、『『電脳長崎学』の情報発信をするように整備する計画です。

### 2) 県内最高水準にある附属図書館データベース技術資源の地域貢献戦略

長崎大学附属図書館のデータベース技術は、長崎県内では最高水準にあり、この技術を使った地域貢献として、「長崎学デジタルアーカイブス」の構築を計画しています。長崎大学の歴史的資源、長崎県立図書館古地図、長崎市立博物館絵図、長崎県の文化財など電子化の実行可能なもののデジタル化を図るよう検討をします。

### 3) 長崎大学附属図書館の公開事業

経済学部分館所蔵「武藤文庫」は、平成15年10月から公開し、分館に申し出れば、展示を見ることが可能になりました。平成19年の長崎大学医学部創立150周年記念事業に先だて、平成16年11月から医学分館

の資料を公開することを計画しています。また、中央図書館では、「幕末・明治期古写真コレクション」の常設展示のための準備を始めています。

### 4) 大学所蔵歴史資産の商品開発と販売

長崎大学が所蔵する歴史資料の商品開発を行い、これらの資料の維持管理経費を創出し、持続可能な歴史資料の維持管理を考えています。手始めに、古写真・グラバー図譜のクリアファイル、古写真絵葉書の販売、古写真の写真集の出版を計画しています。平成16年度の後半には、図書館グッズが販売されていると思いますので、ご覧下さい。

## (2) 教育研究改革・改善プロジェクトの特色と意義

### 1) 地域研究は大学の研究成果を地域貢献として実現するところにある

地域を現実的に変革する研究が求められています。本年度の企画を通して、附属図書館と研究開発室が持つデータベース開発技術を、「長崎学デジタルアーカイブス」を構築することにより、長崎県・地方自治体との地域貢献事業として実現しようと考えています。大学における研究成果が地域貢献に役立つよう、附属図書館の情報発信を一新するものです。

### 2) 地域活性化とeラーニングを支援する「長崎学デジタルアーカイブス」

長崎市を始めとして長崎県内主要都市の観光客の減少が激しく、観光産業再生が長崎県の緊急・最重要な課題となっていま

す。観光振興には、都市イメージが重要な要因となります。長崎県・長崎市の「デジタルアーカイブス」は、県・市の重要な目標であり、この企画は長崎大学と地方自治体の「地域貢献事業の先導的研究」と考えております。「長崎学」は地域学の中で国際的に通用する分野です。長崎市・長崎県の歴史的資産がインターネットで気軽に見える環境を構築することは、長崎県内だけでなく、国際的にも国内向けにも重要な課題でもあります。【ユビキタスな学習環境を創造】することが次世代の大学の役割であります。このような取り組みを通して、多面的で、直接的な大学教育、学校教育、生涯学習、海外の日本研究を支援することになります。

### 3) 附属図書館・研究開発室（技術資産）の地域貢献

附属図書館と研究開発室では、平成9から10年、また平成13から14年にかけて、科学研究費の支援を受けて、「幕末・明治期古写真画像データベース」を完成させてきました。現在では、国内はもとより国際的にも名前の知られたデータベースに成長しました。このような研究で養ったデータベースの技術資産を、長崎県の地域振興のための地域貢献事業に活用することができます。

### 4) 大学所有歴史資産の電子化情報としての2次利用法の確立

長崎大学には、「幕末・明治期古写真コレクション」、「医学部創設期資料」、「武藤文庫」、など歴史的資料が所蔵されています。これらの資料は、資料室において長崎

大学の少数の教職員が使用しても有効な活用とはいえません。貴重資料の2次利用に関しては、「幕末・明治期古写真コレクション」データベースの実績があります。長崎大学所蔵歴史資料の有効活用のために、「2次利用の法を確立」し、「長崎学デジタルアーカイブス」として広域活用を実現することが必要です。

### 5) 附属図書館グッズの開発と販売

附属図書館には図書館グッズとなる、数多くの画像イメージがあります。附属図書館の収入の面からだけでなく、附属図書館が教員や学生諸君から身近に感じられるためにも、附属図書館グッズの販売が必要であると考えます。

大学附属図書館の役割として大きく、①教員の研究支援、②学生の学習支援、③地域貢献があります。研究支援では、「電子ジャーナル」や洋・和雑誌を、大学における学術研究情報基盤資産と考え、安定的供給のための仕組みを検討しております。学習支援では、「読みたい本が欲しい」という学生諸君の要求に迅速に答えられる、「収書システムの見直し」を行っております。社会貢献では、長崎大学が蓄積してきた歴史的資産を、大学内・外の多くの人に知って頂くために図書館の資料室の公開事業を行っております。年末頃には、「附属図書館資料館ツアー・ガイドブック」の作成を計画しています。

## 中央図書館・経済学部分館の閲覧机更新

中央図書館では、昭和46年（1971年）2月の竣工以来利用してきた閲覧机を、昨年度平成15年度末に更新いたしました。

木製両面4人掛けの閲覧机を中央図書館2階参考図書閲覧室に37台、3階開架図書閲覧室に13台、計50台を新規に更新しました。また、衝立付き木製両面4人掛けの閲覧机を3階開架図書閲覧室に40台、一人掛けキャレルデスクを中央図書館2階雑誌閲覧室に4台、同じく3階情報コンセンルームに14台、3階開架図書閲覧室に2台の計20台を新規更新いたしました。

図書館では、中央図書館の閲覧用椅子を平成13年度に195脚、一人掛けキャレルデスクを17台更新するなど、これまでも、図書館の学習環境の向上に努めてきました。

さらに、昭和47年（1972年）5月に竣工した経済学部分館でも、平成14年度に一人掛けキャレルデスクを11台増設したのち、おなじく平成15年度末に、衝立付き木製両面4人掛けの閲覧机を29台、一人掛けキャレルデスクを10台、閲覧用椅子24脚を更新しました。

利用者にもこの設備更新は大変好評で、図書館といたしましても、長年の懸案事項がこれでひとつ解決しました。今後とも学内のご理解とご配慮を頂きながら、さらなる学習環境の整備につとめていきたいと考えています。

（資料サービス担当、参考調査担当、経済情報担当）



中央図書館3階開架図書閲覧室



中央図書館2階参考図書閲覧室



経済学部分館閲覧室

## 読みたい本をリクエストしよう！ ～学生希望図書について～

学生の皆さんからのリクエストによる図書（学生希望図書）の購入予算が平成16年度から大幅に増額されました。また、条件も変更されました。（条件の詳細は以下をお読みください。）

ご希望の図書（ビデオ、CD-ROMなどもOK）が図書館に購入されます！

置いて欲しい図書館（中央図書館・医学分館・経済学部分館）で、所定の用紙に記入してお申し込みください。詳しくはお気軽にカウンターまで。

### 学生希望図書について

#### （趣旨）

学生、大学院生の皆さんが自学自習、教養、研究等のために必要とされる資料を購入します。

長崎大学の学生、大学院生以外の方は申し込みできません。

#### 1（原則）

お申し込みがあれば、すぐに担当者が調査して、手配します。利用できるようになり次第、申込者に連絡いたします。ただし、以下の**2（備え付けをしないもの）**、**3（委員会で検討するもの）**に該当するものについてはこの限りではありません。また、購入総額が予算に達した場合には、購入を停止することがあります。

#### 2（備え付けをしないもの）

以下の①から⑤に該当するものは原則として購入できません。

- ①すでに図書館にあるもの（旧版、破損汚損資料、研究室所蔵資料を除く）
- ②絶版等により入手が不可能な資料
- ③内容および形態が大学図書館の蔵書として不適当なもの
- ④書き込み式の問題集、ワークブック等
- ⑤1冊の定価が1,000円未満のもの

#### 3（委員会で検討するもの）

以下の①から⑤に該当するものは、専門の委員会で購入するかどうか検討します。対応に時間をいただくことがあります。

- ①1点の価格、またはセット価格が3万円以上の資料
- ②内容および形態が大学図書館の蔵書として適当かどうか疑問があるもの
- ③発行が次年度にまたがるシリーズものなど
- ④定期刊行物（新聞・雑誌など）
- ⑤すでに年度内に3件以上、希望図書の購入が認められた人が希望する資料

（図書情報担当）

## EBSCO host 利用上の注意点

教育学・経済学分野も検索できるデータベース（電子ジャーナルも閲覧可能です）

昨年度長崎大学に導入されたEBSCO hostは、EBSCO Information Services社から提供されている、電子ジャーナルも閲覧できる総合的なデータベースです。

EBSCO hostは7,000誌以上の学術雑誌から雑誌情報のデータベースが作成され、4,000誌以上が全文を閲覧できます。心理学分野のPsycINFO、社会科学分野のSocial Science Abstracts、医学分野のCINAHL、人文科学の学術文献書誌情報データベースのMLA International Bibliography、農学分野のAGRICOLA、医学・生物・生命科学分野のBasic BIOSIS、Biological Abstracts、工学分野のInspecや芸術、環境政策の雑誌情報や書評などを含む各分野コアとなるデータベースが電子ジャーナル付きで提供されていますが、長崎大学から現在利用できるのは、以下のデータベースです。

データベース名	分野	収録雑誌	備考
Academic Search Elite	人文社会科学、自然科学、医学までの幅広い分野の外国雑誌抄録・全文を収録	Index/Abstract約3,200誌 フルテキスト約1,800誌	
Business Source Elite	経済・経営分野の外国雑誌抄録・全文データベース	Index/Abstracts付1,700誌 フルテキスト約1,100誌	
ERIC	教育学のコアとなる抄録データベース	数千のフルテキストダイジェスト・レコード、1975年以降のシンポジウムレポート	
EconLit	経済学のコアとなる抄録データベース	1969年以降のサイテーション及び抄録	
American Humanities Index	米国、カナダで出版された人文学に関する二次情報データベース	700誌以上	期間限定 トライアル
Communication & Mass Media Complete (CMMC)	コミュニケーション・マスメディアに関する一次情報データベース	抄録300誌 フルテキスト200誌	期間限定 トライアル

ERIC、EconLitは書誌、抄録のみの収録となっておりますが、それぞれAcademic Search Elite、Business Source Eliteに電子ジャーナル全文へのリンクがついているものもあります。

ただし、電子ジャーナルサービスが提供されている雑誌であっても、発行から1ヵ月～数年の掲載禁止期間が設定されているものがあります（次ページ例1）。掲載禁止期間は、電子ジャーナルの本文は閲覧できません（次ページ例2）ので、あらためて、OPACで検索し直して冊子体で閲覧するか、本学に雑誌の所蔵がなければ他大学に文献複写を依頼することとなります。ただし、掲載禁止期間のものでも、当大学から利用できるElsevier社ScienceDirectやSpringer社Linkなど他の電子ジャーナルサービスから閲覧できるものには、検索の結果表示される個々の論文情報から全文へのリンクがつけてあります。

また、電子ジャーナルサービスで雑誌が閲覧できるものであっても、一定期間をさかのぼると全文が閲覧できないものもあります。

(例1) 掲載禁止期間の表示例

「長崎大学附属図書館電子ジャーナルリンク集」からEBSCOhostを検索すると、誌名に続き、掲載禁止期間の情報が表示されます。(雑誌名をクリックするとその雑誌の情報を知ることができます。掲載禁止期間があるものは、そこでもその情報を知ることができます)



① ● AAC: Augmentative & Alternative Communication (EB (trial): after 1 yr)

(EB(trial):after 1yr) → トライアル誌で、出版後1年間は電子ジャーナルの閲覧はできない、1年経過している号ならば、電子ジャーナルで全文が閲覧できる、という意味です。

② ● Academic questions : AQ (EB : after 6 mo)

(EB:after 6 mo) → 出版後半年間は電子ジャーナルの閲覧はできないという意味です。

(例2) 電子的に本文の閲覧が不可能なケース

このケースでは個々の論文の情報を検索すると、書誌情報に続いて、



と表示されますので、長崎大学蔵書検索での検索結果の表示、NACSISWebcat画面での検索画面への移行、Googleでの論文名あるいは著者名の関連情報の自動検索は可能ですが、電子ジャーナル全文の閲覧はできないケースです。

(参考) 電子的に本文の閲覧が可能なケース



書誌情報に続いて [HTML Full Text](#) や [PDF Full Text](#) の表示があれば、電子ジャーナル全文の閲覧が可能なケースです。

EBSCOhostの他のデータベースのトライアルも検討しておりますので、その際にはご自分の研究に関連する他のデータベースと比較してみてください。

Basic SearchやAdvanced Search画面からキーワードを利用して特定の主題の論文情報の検索もできます。また、EBSCOhostは長崎大学附属図書館データベースリンク集からも利用することができます。(参考調査担当)

## ScienceDirectおよび InterScienceの学外からの利用サービスについて

長崎大学から利用できる電子ジャーナルのうち、Elsevier社から提供されているScienceDirect（約1,800誌利用可能）およびWiley社から提供されているInterScience（約400誌利用可能）については、**長崎大学の教職員・大学院生の方は、登録をさせていただきますと、学外（ご自宅・大学外の研究室・診療室）から上記電子ジャーナルを直接、閲覧・利用することができます。**登録用紙は、図書館Webページの「電子ジャーナルの学外からの利用について」（[http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/ej/gakugai/index\\_g.html](http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/ej/gakugai/index_g.html)）に掲げています。



①申込用紙をダウンロードし、②お名前、所属、ご希望のパスワード、メールアドレス等をご記入のうえ学内便等でご送付またはご持参（署名・捺印が必要なため）いただきますと、③中央図書館参考調査カウンターで登録手続きをいたします。④登録後、E-mailにて、ID及びパスワードをお知らせします。お申込み・お問い合わせは、参考調査カウンター（内線・文教-2199、電話・(095)819-2199）までお願いします。

（参考調査担当）

## 「日本実験動物科学・技術ながさき2004」で古写真パネルを展示

幕末・明治の生活空間への旅—長崎・各地・風俗—

附属図書館では、5月20日（木）～22日（土）の3日間、長崎市内ブリックホールで開催された「日本実験動物科学・技術ながさき2004」において、「幕末・明治期日本古写真コレクション」から70点を厳選し、「幕末・明治の生活空間への旅—長崎・各地・風俗—」というテーマで、古写真パネルを展示しました。



姫野教授による古写真ランチョンセミナー

これは、第51回日本実験動物学会総会、第38回日本実験動物技術者協会総会、第1回アジア実験動物連合国際学術集会の合同大会が長崎で開催されるのに際して、往時、異国文化の導入窓口であった長崎にふさわしい展示会を併催したいとの大会主催者の意向を受け附属図書館が協力したものです。

また、合同大会では、日本国内はもとより、韓国、中国、台湾、フィリピン、ベトナム、タイからの大会参加者1,000名以上が、日本における近代化の諸相を映し出した貴重な映像を堪能されました。

また、合同大会では、日本国内はもとより、韓国、中国、台湾、フィリピン、ベトナム、タイからの大会参加者1,000名以上が、日本における近代化の諸相を映し出した貴重な映像を堪能されました。

附属図書館としても、所蔵する古写真コレクションを広く知ってもらう機会を得るとともに、日本とアジア諸国との連携の一助となることができました。

展示会の開催にお骨折りいただいた環境科学部の姫野教授、先導生命科学研究支援センターの佐藤センター長はじめ、動物実験施設の職員の方々に感謝いたします。

（情報管理班長）



## 図書館利用ガイダンスの報告とお知らせ

平成15年度に図書館で開催した利用ガイダンスは以下のとおりでした。分館での開催も増えております。ご希望の方は、各カウンターまでお気軽にお申込ください。

中央図書館では、図書館利用ガイダンスとして、図書・雑誌検索を中心とする「文献情報検索入門コース」、電子ジャーナル・データベースを中心に紹介する「文献情報検索応用コース」、そのほか「中央図書館ツアー・コース」、「30分ガイダンス・コース」を準備して、お一人からご都合のよい時間に合わせて実施しています。

先生方からは、休講の際に学生へ「図書館利用ガイダンス」に参加するようお勧めください。また、学生のみなさん方も、休講の際には、ぜひご参加ください。学科・研究室・ゼミ単位のお申込みも大歓迎いたします。

### 中央図書館開催分

図書館利用ガイダンス	121名 (12回)
教養セミナー資料収集ガイダンス	1,160名 (38回)
文献情報学 (図書館実習)	32名 (2回)

### 医学分館開催分

図書館利用ガイダンス	252名 (6回)
------------	-----------

### 経済学部分館開催分

図書館利用ガイダンス	149名 (6回)
計	1,714名 (64回)



「教養セミナー資料収集ガイダンス」実習風景

(参考調査担当)

## 携帯OPAC運用開始

附属図書館では、平成16年4月より、携帯電話を利用した各種図書館情報サービスを始めました。

図書館のホームページから、下記のURLにアクセスすると、右図のような「携帯電話による図書館情報サービス」の画面が表示されます。

画面のなかに「携帯電話にURLを送る」という項目があります。ここに自分の携帯メールアドレスを入力すると、図書館の携帯用ホームページのURL (アドレス) を自分の携帯電話に送ることができます。



「携帯電話による図書館情報サービス」画面



携帯用ホームページ画面

<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/sabis/mobileopac.html>

携帯電話では、左の図のようなメニューが表示されます。

「開館時間」や「休館予定」のお知らせの確認はもちろん、「図書検索」や「雑誌検索」が可能です。検索結果では、必要な情報を縮約して表示します。図書館外から、いつでも、上記の情報をご覧いただけます。どうぞご利用ください。

(参考調査担当)

## 参考調査カウンターの新サービスの紹介

### <研究室所蔵資料の利用>

中央図書館では、学生の利用者から要望が高まっていた、**研究室所蔵資料の利用申込み**について、参考調査担当職員が、**研究室との連絡・資料の授受および利用希望者への資料の貸出・返却を仲介するサービスを始めました**。これまでも、担当職員が個別に対応しておりましたが、学生の利用者が検索の結果、研究室所蔵とわかると、それだけで資料の閲覧を躊躇してしまうケースが散見されました。

そこで、「研究室資料利用申込用紙」をカウンターまわりの検索端末付近に備え付け、検索の結果、研究室の所蔵を確認ののち、利用申込みをおこなうことができるようにしましたところ、研究室資料の利用申込みが目に見えて増加しました。図書館で、多くの新生入が参加する「教養セミナー資料収集ガイダンス」の際にも、OPACの検索方法を紹介し、書庫に入る実習もおこなっていますが、その際に、研究室資料も積極的に利用していただきたいと説明してきたことの影響かもしれません。

担当職員の業務も増えましたが、**資料を所蔵されている先生方もたいへん協力的で、ほとんどのケースで、速やかに利用者が資料を利用することができるようになりました**。さらに、同じ先生にたびたび違う資料の利用申込みをしても、快く貸していただいたケースもありました。先生方には、この場を借りてお礼を申し上げます。今後とも**学生からの研究室所蔵資料の利用希望を実現させていただきますよう、ご協力のほどよろしく**お願いします。

### <検索端末増設>

検索端末の利用が最近とみに増えておりますので、カウンターまわりの6台の現有検索端末に加え、4台を増設しました。端末はカウンターに近い場所に設置され、従来どおり、検索方法や結果に対してカウンター職員に質問できる体制をとり、これまで以上に利用者にとって使い勝手の良いサービスを目指しております。



蔵書検索の結果、研究室所蔵資料の利用申込みをする利用者



増設された蔵書検索端末

(参考調査担当)

## 本学関係教員著作寄贈図書（平成15年11月～平成16年6月分）

※長崎大学の先生がたが著作し、図書館にご寄贈くださった図書の一覧です。

1. 佐々野好継 教育学部助教授  
インテリアデザイン教科書／インテリアデザイン教科書研究会編著――彰国社、1993.12  
(中央図書館 529Ⅱ93 1825200)
2. 大坪喜子 名誉教授  
・ Development of a teacher training program : at the Department of English, Nagasaki University / edited by Yoshiko Otsubo, Giles Parker――創英社/三省堂書店(発売)、2004.2  
(中央図書館 830.7Ⅱ2004 1504663)  
・ 小学校で英語を教えよう：英語科教員養成の理論と実践(英語好きを育てるWorld Englishes)／大坪喜子編著――創英社/三省堂書店(発売)、1999.11  
(中央図書館 375.89Ⅱ99 1504665)
3. 深浦厚之 経済学部教授  
債権流動化の理論構造：証券市場の機能とその将来／深浦厚之著――日本評論社、2003.11  
(経済学部分館 338.15ⅡF 3155877)  
(経済学部分館 338.15ⅡF 3155882)
4. 菅家正瑞 経済学部教授  
企業管理論の構造／菅家正瑞著――千倉書房、1991.12  
(経済学部分館 336ⅡK 3156274)
5. 是枝正啓 経済学部教授  
ミクロ・エコノミックス／是枝正啓、福澤勝彦、村田省三共著――九州大学出版会、1999.4  
(経済学部分館 331.8ⅡK 3155892)
6. 青山繁 経済学部教授  
新制度派経済学入門：制度・移行経済・経済開発／ティモシー・J・イエーガー[著]、青山繁訳――東洋経済新報社、2001.3  
(経済学部分館 331ⅡY 3155891)
7. 川村雄介 経済学部教授  
入門現代証券市場／川村雄介著――第2版――財経詳報社、2003.2  
(経済学部分館338.15ⅡK 3155890)
8. 村田省三 経済学部教授  
ミクロ経済のゲーム／村田省三著――九州大学出版会、1995.11  
(経済学部分館331.19ⅡM 3156275)
9. 島田章 経済学部教授  
国際労働移動のマクロ経済学分析／島田章著――五紘舎、2003.11  
(中央図書館 366.2Ⅱ2003 1503504)
10. 藤田渉 経済学部教授  
経済数学 (現代経済学のコア)／藤田渉、福澤勝彦[ほか]編――勁草書房、2000.12  
(経済学部分館331.19ⅡF 3155893)
11. 山下正喜 名誉教授  
産業の現状と将来の展望／長崎大学経済学部社会人講師団著――えぬ編集室、1995.1  
(経済学部分館332.1ⅡY 3156276)
12. 都野尚典 名誉教授、平尾勇 名誉教授  
現代アジア経済の発展と動向／都野尚典、平尾勇共編――税務経理協会、1985.1  
(経済学部分館332.2ⅡT 3156277)
13. 医学部放射線医療科学国際コンソーシアム  
Radiation and humankind : proceedings of the First Nagasaki Symposium of International Consortium for Medical Care of Hibakusha and Radiation Life Science, Nagasaki, Japan, 21-22 February 2003 (International congress series:1258) / editors, Yoshisada Shibata ... [et al.]――Elsevier、2003  
(中央図書館 493.195Ⅱ2003Ⅱ1258 1503505)  
(中央図書館 493.195Ⅱ2003Ⅱ1258 1503506)  
(医学分館 493.195Ⅱ2003Ⅱ1258 2130666)  
(医学分館 493.195Ⅱ2003Ⅱ1258 2130667)
14. 田口光雄 工学部助教授  
マイクロ波シミュレータの基礎／電子情報通信学会編――電子情報通信学会/コロナ社(発売)、2004.3  
(中央図書館 547.516Ⅱ2004 1504785)
15. 戸田清 環境科学部助教授  
・ 脱グローバル化：新しい世界経済体制の構築へ向けて／ウォールデン・ペロー著：戸田清訳――明石書店、2004.4  
(中央図書館 333.6Ⅱ2004 1504660)  
・ 気候変動：水没する地球／ディンヤル・ゴドレージュ著、戸田清訳――青土社、2004.5  
(中央図書館 451.85Ⅱ2004 1504661)
16. 宮原彬 留学生センター教授  
・ 日本語学習者が作文を書くための用例集／宮原彬著――凡人社(発売)2001.12  
(中央図書館 816.8Ⅱ2001 1505050)  
・ 日本の断面：読解から会話、作文へ：日本語中級後期・上級教材／宮原彬編――東研出版、1999.12  
(中央図書館 810.7Ⅱ99 1505051)

このほかにも多数の研究報告書等を寄贈していただきました。ありがとうございました。  
今後とも著作物を刊行された際には、図書館へのご寄贈をお願いいたします。

(図書情報担当)

## 平成16年度附属図書館委員会委員名簿

(平成16年4月1日現在)

### 附属図書館委員会名簿

附属図書館長	教授	岡林 隆敏
医学分館長	教授	相川 忠臣
経済学部分館長	教授	柴多 一雄
総合情報処理センター長		
	教授	宮原 末治
生涯学習教育研究センター長		
	教授	糸山 景大
留学生センター長		
	教授	松村 功啓
大学教育機能開発センター		
	教授	栗山 一孝
教育学部	教授	勝俣 隆
経済学部	教授	内田 滋
医学部	教授	松山 俊文
医学部・歯学部病院		
医歯薬学総合研究科（兼務）		
	教授	大井久美子
薬学部	教授	中村 純三
工学部	教授	香川 明男
環境科学部	教授	園田 尚弘
水産学部	教授	橋本 惇
熱帯医学研究所	教授	門司 和彦
生産科学研究科	教授	竹村 暘
医療技術短期大学部		
	教授	東嶋美佐子
図書館部長		安永 勉

### 附属図書館医学分館運営委員会

医学分館長	教授	相川 忠臣
医学部	教授	松山 俊文
医学部・歯学部附属病院		
	教授	大井久美子
医療技術短期大学部		
	教授	東嶋美佐子
熱帯医学研究所	教授	門司 和彦
薬学部	教授	中村 純三
歯学部	助教授	岡田 幸雄

### 附属図書館経済学部分館運営委員会

経済学部分館長	教授	柴多 一雄
経済学部	教授	内田 滋
経済学部	助教授	式見 拓仙
経済学部	助教授	吉田 省三
経済学部	助教授	小野 哲
経済学部	講師	白水 桂子
経済学部	講師	鈴木 斉

## 人事異動

平成16年	(新)	(旧)
4月 1日付 転任	千葉大学附属図書館情報管理課長	長崎大学附属図書館情報管理課長
〃	長崎大学図書館情報管理課長	琉球大学附属図書館情報管理課長
〃	山口大学学術情報部学術情報課システム管理係	長崎大学附属図書館情報管理課資料管理係
4月 1日付 配置換	情報管理課情報管理班班長	情報管理課図書館専門員
〃	情報管理課情報管理班主査(図書情報)	情報管理課資料管理係長
〃	情報管理課情報管理班主査(雑誌情報)	情報管理課電子情報係長
〃	情報管理課情報管理班主任(図書情報担当)	情報管理課資料管理係主任
〃	情報サービス課情報サービス班主任(資料サービス担当)	情報サービス課参考調査主任
〃	情報管理課情報管理班員(図書情報担当)	情報サービス課経済情報係
〃	情報管理課情報管理班員(雑誌情報担当)	情報管理課資料管理係
〃	情報管理課情報管理班員(総務担当・事務補佐員)	情報サービス課経済情報係(事務補佐員)
〃	情報管理課情報管理班員(雑誌情報担当・事務補佐員)	情報管理課資料管理係(事務補佐員)
〃	情報管理課情報管理班員(図書情報担当・事務補佐員)	情報管理課資料管理係(事務補佐員)
※平成16年4月1日付で図書館は長崎大学事務局図書館部となり、班体制を採用。電子情報係および資料管理係は平成16年3月31日付で廃止。実質的な業務担当の変更を伴わない、班体制採用による異動は省略。		
4月 1日付 採用	情報サービス班員(参考調査担当)	浦 さやか
〃	情報サービス班員(経済情報担当・事務補佐員)	川渕 賢治
5月21日付 採用	情報サービス班員(経済情報担当・事務補佐員)	永田 貴子
3月31日付 辞職	情報管理課総務係(事務補佐員)	桑原 奈保
〃	情報管理課資料管理係(事務補佐員)	立入佳奈子
5月 6日付 辞職	情報サービス班員(経済情報担当・事務補佐員)	田中 舞

### 新規採用職員の感想と抱負

#### 附属図書館情報サービス班参考調査担当

浦 さやか



私は、この4月から長崎大学の文教キャンパスにあります中央図書館のカウンターで働いています。

カウンターには、ほかに、資料の貸出返却をおこなう資料サービスカウンター、学外から資料を取り寄せする相互利用カウンターもあり、それぞれ専門に分かれていながらも、協力しながら仕事をおこなっています。

わたくしが、主に担当としているのは参考調査業務で、図書館の利用に関する質問や、図書館の資料、様々な事項に関する質問に対してお答えしております。また、図書館ガイダンスもおこなっており、なかでも、4月から5月にかけては、1年生を対象に実施した教養セミナー「資料収集ガイダンス」では、毎日のように図書館利用法や情報検索法を説明いたしました。

ついこのあいだまで学生だったので、当初は、学生の利用者に教えたり、お尋ねに答えたりしているとなにか不思議な感じもいたしましたが、近ごろで

は、学生の利用者の方にも、どれだけ満足していただけたかということや、ときどき考える余裕ができるようになりました。

今は、やっと職場の雰囲気に慣れ、自分の担当する仕事が見えてきた、という状況です。カウンターの職員の中ではいちばん年齢が若いので、他の職員の方はみなさん先輩にあたりますが、それぞれユニークで、明るく、利用者にはとても親切な方ばかりですので、新しい仕事にも日々楽しく取り組むことができいております。

今後は、いっそう自分の仕事や図書館、長崎大学への理解をより深めるとともに、図書館に関する様々な知識を吸収していくよう努力することで、一人でも多くの利用者の手助けができるような図書館員を目指したいと思います。

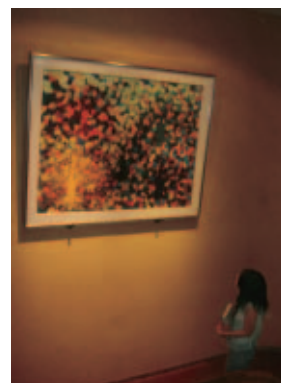
まだまだ未熟ですが、今後とも宜しく願いいたします。

## 情報スクランブル

### 中央図書館からのお知らせ

中央図書館の2階と3階の階段踊り場に齋藤学長のご配慮により、「絵画」1点を展示しました。

これまで殺風景で暗かった階段に、明るいタッチの絵画が掲げられ、図書館で勉学に励む利用者の目を楽しませ、ひとときの気分転換の場になっています。



### 医学分館からのお知らせ



侍姿のボードウィン兄弟

ボードウィンコレクションの展示をいたします。

医学分館では下記の期間、ボードウィンコレクション（ライデン大学所蔵）を展示いたします。ボードウインは、教え子ポンペの後任として養生所の教頭となり、来日中に多くの写真を収集しました。

**展示期間：平成16年9月1日～9月30日**

また11月11日～23日には、貴重資料展示会「医学は長崎から」を開催します。多数のご来館をお待ちしています。

### 経済学部分館からのお知らせ

学生用図書（館内設置分）の購入希望申込みを受け付けています。  
所定の用紙に記入のうえ、カウンターへ申し出てください。

### 図書館報の新ニックネームについて

図書館報が、みなさまにより一層親しまれるようニックネームを募集しましたところ、多数のご応募をいただき、ありがとうございました。慎重に検討させていただきました結果、「**和華蘭の窓(わからんのまど)**」に決定いたしました。和華蘭とは、和(日本)、華(中国)、蘭(阿蘭陀=西洋)の混合した文化や料理の様式をいいます。そこから、世界中の資料・情報をひろく収集し、利用者の方々にわかりやすく提供する窓口でありたい、という長崎大学附属図書館の理念を表しています。

長崎大学附属図書館報 No.92 2004年(平成16年)8月31日発行

編集委員会 委員長 森高 桂子

委員 金丸 明彦・濱口 千賀子・辻村 恵二・志波原 智美・森石 みどり・山本 知美

発行 長崎大学附属図書館 〒852-8521 長崎市文教町1-14

電話 (095) 819-2193 (総務係)

附属図書館ホームページURL <http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/>

図書館報URL <http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/kanpo/index.html>